

平成 25 年度鳥取県西部海岸管理協議会意見に対する対応状況

○主な意見とその対応状況

委員からの意見	対応状況
【各海岸の汀線変化分析】	
(鳥取大学：黒岩委員) 富益工区の L 型突堤付近は、侵食箇所が西へ伝播している様子があることから、今後注視していく必要がある。	(日野川河川事務所) 定期的な測量及び、台風等高波浪後の状況について、モニタリングを行っている。
(鳥取大学：松原委員) 平成 25 年 10 月 16 日の台風 26 号の影響で、皆生工区、富益工区に浜崖が発生していることから、対応を検討するとともに、今後冬季風浪を迎えるにあたり十分な監視が必要である。	(日野川河川事務所) 定期的な測量及び、台風等高波浪後の状況について、モニタリングを行っている。浜崖に対しては、定期的なサンドリサイクル事業に加え、緊急養浜を行い対応している。
【土砂管理計画の点検】	
(境港市建設部管理課：灘委員) 日野川河口からの土砂供給が計画と比べ、明らかに少ない。このことをポイントに対策を講じていくべき。	(日野川河川事務所) 河口からの土砂供給を確保するため、日野川流砂系における総合土砂管理計画策定に向けて検討中である。
【日野川水系総合土砂管理計画について】	
(鳥取大学：松原委員) サンドリサイクルの土砂は粒径が小さく、侵食域に持って行っても、またすぐに移動してしまうことを考慮すると、少し粒径の大きい土砂を海岸に投入することも考えていく必要がある。	(日野川河川事務所、米子県土整備局) 日野川河口からの土砂供給量が少ない状況にあり、河口土砂供給量補完のため、河川中流下流域（系内）及び陸上部（系外）の掘削工事における発生土砂についても、海浜に適したものであれば、検討・調整していく。